

# 赤穂民報

## 赤穂3年 札幌菜那さん 近畿高校弓道で優勝 最後の公式戦有終飾る

第76回近畿高校弓道大会の女子個人で赤穂3年の札幌菜那さん(18)が優勝。自身にとって高校最後の公式戦で有終の美を飾った。

大会は7月22・23日に彦根市であり、近畿2府4県の上位選手計60人が出場した。決勝は的を外した者が脱落する「射話」と呼ばれる競技方法で、4射目まで終えた時点で札幌さんを含む4人に絞られた。5射目からは的の直径がそれまでの36センチから24センチに縮小。他の3選手が外した中、唯一人的を射止めた。大会の数日前に体調を崩して不安があった

中、8射して5本以上の中すれば通過できる予選は5本の中でぎりぎりクリアした。しかし、本人は「前日の公開練習で、いい感じで弓を引けていた」と復

調の心配えを感じていたといい、勝負がかか



ご予約スタート  
**卒業袴**  
12点セット レンタル  
14,300円(税込)

IDA rental costumes shop 加里屋43-12(火曜日定休)  
**イダ貸衣裳店** TEL 0791-43-4356

Instagram: @rental.ida.ako

った最後の場面も「思ったよりも的が小さく見えなかった。外す感じはなかった」と冷静に狙いを定めた。優勝を決めて試合場を出ると、うれしさと安堵の気持ちがあふれて涙がこぼれた。

3つ上の姉に続き、高校から弓道を始めた。「部員のみならず、しんどい中でも頑張って練習してきたことが一番の思い出」と札幌さん。「自分自身と向き合うことができる」のが弓道のおもしろさだと話す。村上真順顧問(41)は「責任感が強く、普段から練習をおろそかにせず、最後までやり抜くタイプ。これまでやってきたことが今大会で結実した」と努力を称えた。(写真：近畿高校弓道の女子個人で優勝した札幌菜那さん)